

# 太陽の塔内部 & EXPO'70 パビリオン見学会・ディスカッション ～展示とミュージアム運営の現状と課題について～

## 趣旨：

太陽の塔は、2016年から始まった耐震工事に伴い内部も改修し、2018年3月19日、48年ぶりに本格的な内部公開が開始されました。1970年の日本万国博覧会（大阪万博）が終わった後、太陽の塔は保存されることになりましたが、期間限定の公開を除いて中に入ることはできませんでした。それが、今後は常時公開されることになったのです。

周知の通り、万博が1970年に大阪・吹田で開催され、太陽の塔も注目された目玉の一つでした。当時、太陽の塔はメインゲートの正面に立ち、両手を広げて会場を訪れる観客を出迎えました。大屋根の中央に穴があり、突き抜けるように立っていました。太陽の塔は単なる巨大な彫刻ではなく、万博のテーマ「人類の進歩と調和」を表現するテーマ館の一部として建てられたものであり、内部には空中展示（大屋根）へとつながる塔内展示を擁していました。

このテーマ館の一部である太陽の塔の内部が公開されてから2019年3月で1年を迎えますが、この間、万博記念公園全体に指定管理者制度が導入され、10月1日には新たな管理者が運営を開始しました。太陽の塔及び一体運営されるEXPO'70パビリオン（旧鉄鋼館）の展示やミュージアム運営がどのようになされてきたのか、今回は、新たな管理者である万博記念公園マネジメント・パートナーズのご担当者にお話しいただき、その後ディスカッションを通じて議論を深めたいと思います。

## 日時：

2019年3月2日（土）11時45分～16時30分

## 日程：

11時45分 万博記念公園中央口 改札外 集合（大阪府吹田市千里万博公園）  
12時10分 太陽の塔 入館（塔内での写真撮影、ビデオ撮影は一部可、飲食などはできません）  
13時15分～14時 園内 見学  
14時～15時 EXPO'70パビリオン 見学／休憩  
15時～16時30分 ディスカッションほか（展示やミュージアム運営などについて）  
16時30分 EXPO'70パビリオンで解散

## 主催：

日本展示学会、日本ミュージアム・マネジメント学会（JMMA）

## 参加費：

920円（太陽の塔560円、自然文化園200円、EXPO'70パビリオン160円）

※ 参加いただくことになった方には2月13日（水）までに参加費を指定口座までお振り込みいただきます。

## 定員：

31名

※ 原則、日本展示学会またはJMMAの会員のみ申込可。ただし、参加申込の締切後に定員割れの場合のみ先着にて会員以外の方も申込可。

※ キャンセルの場合は、必ず事前にご連絡ください。

※ 当日遅刻の場合は、太陽の塔内部を見学いただけないことがありますので、ご注意ください。

## 参加申込締切：

2019年2月6日（水）17:00（先着順）

## 参加申込・お問合せ

氏名（ふりがな）・所属（勤務先もしくは学校名）、電話番号、メールアドレス、所属学会を添えてメールにてお申込ください。

五月女賢司（日本展示学会理事・JMMA近畿支部会幹事・吹田市立博物館学芸員）